

新たな制度に どう向き合うか

人手不足が進む日本において、外国人を雇用する事業所は年々増加しています。これは広島県も例外ではありません。そこで本セミナーでは、人口減少が予測される中、外国人労働者の受入れをどう考えていくべきか、また新たな制度にどう向き合っていくか。技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議の委員である是川先生から生の声をお届けします。広島県が外国人材から選ばれるために何が必要か、一緒に考えてみませんか。

日時

12/21 木 13:30-15:00

費用

無料

講師紹介

国立社会保障・人口問題研究所
国際関係部 部長

是川 夕 氏

将来人口推計の他、送り出し国から、受入国での社会的統合まで国際移民の移住過程全般にわたる調査研究を実施している。OECD 移民政策専門家会合 (SOPEMI) メンバー、OECD 移民政策会合 (Working Party on Migration) ビューロー。東京大学大学院医学系研究科を始め、大学での講義を担当。OECD、UN コンサルタントを務める。

経歴・技能実習制度および特定技能制度の在り方に関する有識者会議 (出入国在留管理庁) 委員
・外国人の雇用・労働に係る統計整備に関する研究会 (厚生労働省) 委員 他

定員

上限なし

会場

オンライン

対象

- ・外国人材の雇用を検討している、または雇用している企業
- ・監理団体、登録支援機関
- ・県内商工会議所、商工会等の経済団体
- ・市町の外国人材受入業務に関わる職員 など

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/foreigner-emp/r5de/maekouza7.html>



申込はこちら

主催

広島県

お問い合わせ先

広島県商工労働局 雇用労働政策課

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

082-513-3411 (受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00)